

講演会
パネル展

杉田庄一の太平洋戦争

杉田庄一は卓越したパイロットになった
決してひるまず 勇猛果敢に戦った
部下に愛され 空戦の神様と呼ばれた
昭和二十年四月 離陸中に撃たれ戦死した
・ ・ ・ 二十歳だった



杉田庄一は十五歳で浦川原を離れ
舞鶴海兵団に入団する
国を守る 故郷を守る 家族を守る
そして 憧れのパイロットになる
そんな想いでいっぱいだった

会場 上越市浦川原地区公民館
講演 4月20日(日) 14:30~16:00
講堂 (参加費は無料です)
パネル展 4月13日(日)~4月20日(日)
会議室(期間中、随時公開しています)

杉田庄一は大正13年(1924)7月1日に旧安塚村(現上越市浦川原区)に生まれました。十五歳で海軍に入隊し、予科練を経て航空搭乗員になります。ラバウル航空戦、い号作戦、山本五十六連合艦隊司令長官護衛作戦、サイパン島攻防戦、マリア沖海戦、そして本土に戻って三四三航空隊で活躍します。3年間での公式撃墜数は、個人撃墜70機協同撃墜40機で「空戦の神様」と呼ばれました。映画やコミックのモデルとなり、スミソニアン航空博物館に世界のエースパイロット10人の1人として写真展示されています。

講演は「杉田庄一の太平洋戦争」と題して当会顧問石野正彦(元上越教育大学教授)が行います。

パネル展では杉田庄一に関する資料や写真などを展示いたします。



新潟日報メディアネットから書籍「杉田庄一の太平洋戦争」が刊行されました。20日の講演会場において販売いたします。また、パネル展会場でも予約受付をいたします。